

実践実学リエゾン型学修ポートフォリオ機能の情報基盤整備

1. 内容

実践実学リエゾン型学修ポートフォリオは、「リエゾン・ポートフォリオ」と命名されて、Web サービスシステム UNIVERSAL PASSPORT のマイステップの機能を用いて運用されています。

①リエゾン・ポートフォリオとは？

学生さんと教職員の間をつなぐ双方向コミュニケーション・ツールとして、ポータビリティを重視して開発された Web ベースの学修ポートフォリオのことです。学生さん一人一人の独自のゴールや、それへ向けての具体的なプロセスが、様式・書式に拘束されることなく表現できるようにデザインされています。

授業や実習はもちろん、ボランティアやフィールドワークなどの課外活動、キャリア形成に向けての様々な取り組みについても、成果物や資料と共に記載・編纂していくことによって、より汎用性の高い「履歴（活動歴）を基にした自己アピール資料」の作成ができます。また、そのような様々な経験を通して自分自身にどのような力が身についたのか、いわゆる汎用的能力と専門的知識・技術とに分けてチェックすることができます。

なお、この取組は平成 24 年度文部科学省私立大学等教育研究活性化設備整備事業（タイプ 1）による助成を受けて行われました。

②導入のねらいは？

現状をよく観察し、目標を具体化すること、課題と同時に“強み”も見出し、複数の解決策から適切なものを選択して実行することなど、問題解決に必要なプロセスを身につけてゆくことです。

履修について言えば、教職員の助言を得ながら、シラバスに明記された達成目標と評価基準（ルーブリック）を基に履修計画を立て、かつボランティア活動やキャリア形成に向けての取り組み等を含めた年間活動プランが作成できます。活動の経過・結果について振り返りを行って、断片化している知識や経験をつなげることで、学生生活全般に亘る自律性が高まると同時に、自分の長所・短所の把握など自己分析的な効果が期待されます。また、ポートフォリオを挟んで教職員と対話することによって、学生さんのコミュニケーション能力の向上も図れますし、結果として相互の理解が深まり、学生さんの「個」に応じた適切な助言・指導が可能となると考えられます。

2. 経過

学修過程及び学修成果のふり返りのみならず、初年次教育のツールとして、履修支援や退学・留年防止のツールとしても活用されています。

詳しくは、本学ホームページ>学生生活>学修支援の「リエゾン・ポートフォリオ（学修ポートフォリオ）」を参照してください。

また、マニュアルとしては、初年次教育の Web テキスト「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」の第 1 章「学びの基本」の第 8 節「Web 版マイステップ・リエゾンポートフォリオを活用しよう」を参照してください。

ステップ

A

- 0.1 自己紹介シート (1)
- 0.2 進路希望シート (1)
- 11 学士力判定 (3)
- 12. 社会人基礎力判定 (2)
- 13. 人間力判定 (2)
- 14. 若年者就職基礎能.. (0)
- 15. キー・コンピテン.. (0)
- 16. GPA-TFU版(世界.. (0)
- 16.0. GPA-TFU版2013.. (0)
- 17. 学修行動チェック (0)
- 18. 履修登録チェック (0)
- SV『福祉ボランティア.. (4)
- SV『福祉ボランティア.. (2)
- ア. 多文化・異文化に.. (1)
- イ. 人類の文化・社会 (1)

B 新規作成
NEW MAKING

C 一覧を見る
LIST

D 一時
一時的に
一覧を見る
TEMPORARY

新着コメント

コメントの新着情報です。

新着コメントはありません

E

3. 成果等

「学修活動アンケート」により、学修ポートフォリオを積極的に活用している人ほど学士力が高いことが明らかになっています。

